

令和7年度第3回 別府市公共交通活性化協議会 会議要旨

日 時	令和7年8月18日（月） 10:00～
場 所	別府市役所 5階 大会議室
出席者 （委員）	阿部 万寿夫、本田哲、後藤 悠介、荒巻 良考、望月 郁男、下森 正也、平松 久幸、 <u>大平 順治</u> 、河野 龍児、廣石 昇、稲積 京子、藤木 淳史、小島 仁、山田 和洋、 <u>谷川 征嗣</u> 、山下 竜雄、 <u>山内 佳久</u> 、谷原 一心、大井 尚司、田原 裕之、河野 圭史、日置 伸夫、田辺 裕、安部 政信 ※委員24名中 出席21名（うち代理2名） 欠席3名（委任状受理）
議 事	（1）審議事項 第1号議案 「別府市コミュニティバス内成棚田線」運行の変更について 第2号議案 営業区域外旅客運送について 第3号議案 扇山地域の交通空白地対策について 第4号議案 湯けむりライドシェア関の江循環線の実証運行延長について （2）報告事項 第5号議案 書面会議の結果について （3）その他 湯けむりライドシェアGLOBALの運行実績（4月28日～7月27日）について
（1）審議事項 ■第1号議案 「別府市コミュニティバス内成棚田線」運行の変更について 事務局からコミュニティバス内成棚田線の現路線上に、「流川16丁目」及び「流川18丁目」の停留所を新たに設置すること、実証運行期間を1年延長することについて説明・提案。 （意見・質疑応答等は、特になし。） 【審議結果】 ◎ 事務局案どおり承認された。 ■第2号議案 営業区域外旅客運送について 事務局からクルーズ船寄港時の利用客や船員の移動手段不足解消策の一つとして、昨年7月から特例で開始している営業区域外旅客運送の対象事業者の拡大の実施について説明・提案。 （意見・質疑応答等については次のとおり。） ➤ タクシー事業者への情報共有や車両の手配を実際にどのような形で行うのか。 ☞ クルーズ船から市（観光課）に情報が入り次第、市タクシー協会、県タクシー協会、別府個人タクシー協同組合の3者に連絡、その後各々から加盟事業者に連絡をしていただくことを想定している。 ➤ 仮に50台必要だという予測が出て、タクシー協会にその情報が入って各タクシー事業者に移働台数何台と決めていくということでしょうか。 ☞ タクシー協会は各事業者が何台出すかということにはタッチしていない。情報は流すが、応援に来てもらえる事業者の方々の台数把握までは非常に難しいと思っている。 ➤ 何台来るのかわからないというのであれば、あまり現状の解決にはならないのではないか。 ☞ これだけでは賄えないと我々も認識しており、これを一つの手段・選択肢として準備し、バスのチ	

ャーターやライドシェアの増員等と組み合わせることにより解消していきたいと考えている。

➤ クルーズ船の規模で縛りをかけるとことは考えているか。

☞ クルーズ船の規模に関係なく、クルーズ船からの要請や乗車人数等の需要を考慮のうえ、当該制度を活用したいと考えている。

【審議結果】

◎ 事務局案どおり承認された。

■第3号議案 扇山地域の交通空白地対策について

事務局から以前より対応を検討してきた扇山地域における交通空白地対策について、運行方法を「定時低路線」から「オンデマンドによる区域内運行」に変更することについて説明・提案。

(意見・質疑応答等については次のとおり。)

➤ フリーにするとタクシーとのすみ分けができなくなってしまうが、日数や時間帯の縛りはかけるのか。

☞ まだ決定ではないが、曜日や時間帯の設定を考えている。

➤ 扇山地区での交通空白地域対策に危機感を持っているタクシー事業者がいる。市の説明を受けながら、地域の皆様にとってどのような形がよいのか、どうやって共存していくのかしっかりと協議していきたい。

➤ 特定のポイントまでお客様を乗せていくという形であれば、タクシーや他の公共交通機関に乗り継げるミーティングポイントを一部でも整備してもらい、利用者の利便性が向上するようにしてもらいたい。

☞ 各事業者と密に連携を取りながら進めさせていただく。

【審議結果】

◎ 事務局案どおり、オンデマンドによる区域内運行に切り替えるという方針について承認された。具体的な組み立てについては、今後事業者や地域住民の方々と詰めていき、再度本協議会で承認を得る。

■第4号議案 湯けむりライドシェア関の江循環線の実証運行延長について

事務局から「湯けむりライドシェア関の江循環線」の実証運行期間の1年延長について説明・提案。

(意見・質疑応答等については次のとおり。)

➤ これまでに事故はあったか、また事故を起こした際の対応についての講習は受けさせているのか。

☞ 昨年10月に運行開始してから事故はない。運転手には安全講習を定期的に受けてもらっている。事故時の対応についても日々指導している。

➤ 一般の方の自家用車を利用しているか。ドライバーに校区の進入禁止エリアの周知を徹底しているか。

☞ 市の車両を使用している。ルート設定に際し各校区の進入禁止エリアを通らないようにしている。

➤ 1便当たりの乗車人数が2人を超えないと、いつまでも実証実験を続けるわけにもいかないと思う。地域の方々に乗っていただけないと維持できないということを伝えた方が良くと思う。

☞ 今後、地域の方々に乗車していただけるよう周知を図っていきたい。

【審議結果】

◎ 事務局案どおり承認された。

(2) 報告事項

■第5号議案 書面会議の結果について

事務局から書面決議で実施した第2回協議会の結果（令和6年度事業報告・収支決算・監査報告、令和7年度事業計画（案）・収支予算（案）、地域公共交通計画、営業区域外旅客運送）について報告。

（意見・質疑応答等は、特になし。）

(3) その他

■ 最後に、湯けむりライドシェアGLOBALの運行実績（4月28日～7月27日）について報告

（意見・質疑応答等については次のとおり。）

- オーダーに対しての積み残しの状況はどうか。「GLOBAL」はインバウンド、「Uber タクシー」は市民というすみ分けをしていたと思うが実際はどうか。平均売上は想定していた金額に対してどうか。
 - ☞ オーダーに対しての乗車率は、直近6月のデータで76%となっている。「Uber タクシー」が6月初旬から運行されているが、「GLOBAL」の利用者の半数以上がインバウンドであるため、経営への影響は出ていないようで、ある程度のすみ分けはできているものと思う。
- 乗車場所については市内が多いのか、市外は空港や由布院が多いのか。
 - ☞ 乗車場所については、市外では空港やうみたまご、湯布院、市内では鉄輪やロープウェイ、駅周辺などからの需要が多い。